

重点12 保護者・地域との協働の推進 / 3 学校運営協議会

ねらい

平成18年度から、保護者・地域の皆さんと学校が一体となった新しい学校運営や効果的な教育活動の実現を図るため、「コミュニティスクール()調査研究事業」を実施しています。

本市の進める「学校運営協議会」は、学校運営や教育活動の基本方針を示す「学校づくりビジョン」の承認を行う、学校の運営に関する事項について意見を述べるといった権限を持ち、一定の責任を担って学校運営に参画しています。

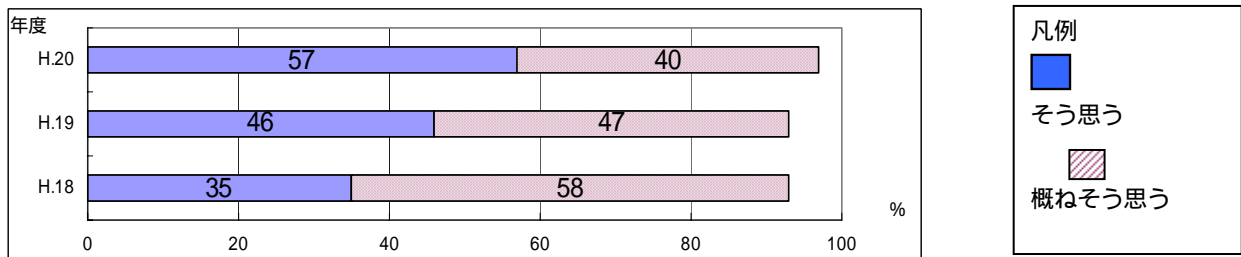
現状と課題

コミュニティスクールとは、「学校運営協議会」が設置されている学校の通称です。

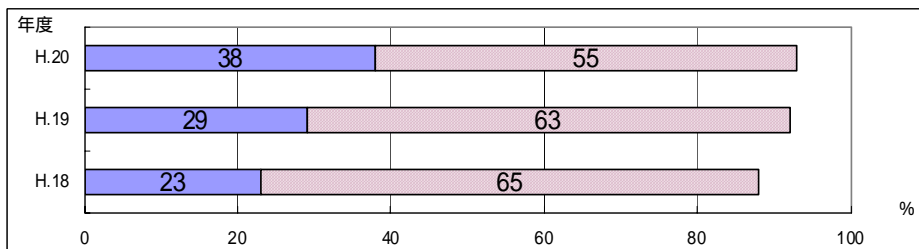
モデル校が実施した保護者・生徒アンケートより

ここでは、学校・保護者・地域が協働して取り組む活動に関する項目を掲載します。

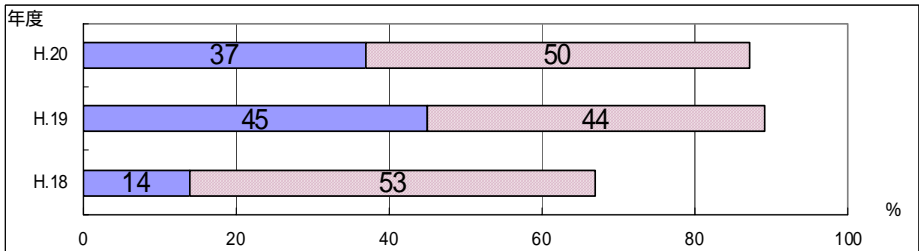
<グラフ> 中部西小学校保護者アンケートより
「学校は参加参加型の教育活動や体験活動の充実に力を入れている」



<グラフ> 八郷小学校保護者アンケートより
「学校・家庭・地域が協力・連携して、子どもの教育や安全にあたっている」



<グラフ> 中部中学校生徒アンケートより
「地域や保護者に授業や行事などを参観していただくことはよいことである」



- ・ グラフ にも見られるとおり、教職員以外の大人が学校に入り、子どもたちの活動を見守っていただいたり、声をかけていただいたりすることは、児童・生徒にとってプラスの環境となっており働いているものと考えられます。
- ・ 3校ともコミュニティスクールの調査研究を始めた平成18年度の結果に比べ、2年目、3年目の結果の方が高い評価を得ています。

第4章 教育活動を支えるもの

コミュニティスクールの取組の主な成果

<学校教育活動の充実>

- ・ 保護者・地域の皆さんの思いや願いに触れる機会が増え、教職員の意識改革が進んでいます。

<保護者の信頼度の高まり>

- ・ 保護者・地域の皆さんのニーズが学校運営・教育活動に迅速に反映され、学校への信頼度が高まっています。
- ・ たくさんの支援を受け、教育活動が充実してきたことで、子どもが楽しく学校生活を送っており、保護者の学校への満足度も高くなっています。

<地域への波及効果>

- ・ 学校運営協議会の活動を通じて、地域の皆さんと子どもたちとの仲がよくなったり、保護者の皆さんと心安くなったり、地域のコミュニケーションがよくなってきています。
- ・ 地域の皆さんからは、学校にかかわることで、自分たちの持っている経験や技能を子どもたちに伝えることができ、社会に貢献できると喜ばれています。

<学校運営協議会の充実>

- ・ 学校運営協議会の活動を通して、学校、保護者・地域の皆さんが、共に学校づくりを進める当事者として、それぞれが担う役割について理解し、学校運営に参画するとともに教育活動への支援を行っています。

今後の改善方針

調査研究事業は本年度をもって終了しますが、モデル校3校はコミュニティスクール運営推進校として、引き続き取組を進めていきます。また、新たに推進校を2校程度公募します。

コミュニティスクールの運営をより効果的なものにするため、教育委員会として「学校運営協議会に委譲する権限」や「学校の裁量権」をどこまで付与するのかといった課題について整理し、本市の実情にあった運営協議会に係る規則を整備していきます。

モデル校3校の調査研究の成果をまとめ、学校関係者や市民の皆さんに紹介していきます。

地域の教育力を生かした特色ある教育活動

本市を進める「学校運営協議会」では、「学校づくりビジョン」の達成に向け、さまざまな提言を行うとともに、学校だけでは十分に取組むことができない活動について地域との連携を強め、地域の教育力を活用した活動や支援を組織的に行っています。

<中部中学校> 「地域スペシャリスト授業」

地域との連携が広がり、地域在住の「その道の達人」を講師とした授業を行っています。このことで地域の伝統文化にふれたり、その人の生き方について考えを深めたりするよい機会となっています。

<中部西小学校> 「参加参画型授業」

授業の中で子どもたちと地域住民などが一緒に活動し、より充実した学習が展開されるよう事前の計画から教師と地域住民・保護者が話し合いを行って授業に臨み、教育効果を高めるとともに学校への理解も深まっています。

<八郷小学校> 「地域で学び、地域から学ぶ」

教員では伝えることができない経験や技能を持っている地域の人が学習支援やクラブの指導に当たり、さまざまな場面で体験的な学習等が展開されています。



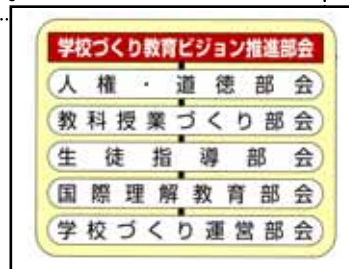
モデル校におけるコミュニティスクールの組織体制

< 中部中学校 >

学校運営協議会からの提言を学校運営や教育活動に迅速に反映する仕組みづくり

学校づくりビジョンと学校運営協議会を一体化するために、学校組織（校務分掌）を5部会に改革しました。

学校運営協議会に各推進部長が参加しており、協議会からの提言を学校運営や教育活動にすばやく反映しています。



< 中部西小学校 >

学校・家庭・地域への提言機関としての学校参画委員会の仕組みづくり

提言機関としてより機能的な組織とするため、方向性の検討、学校づくりビジョン等の承認、学校関係者評価等を行う「委員会」と地域・保護者・学校の三者による具体的な話し合いの場とする「拡大委員会」を設置しました。

中部西小学校では、学校運営協議会の名称を学校参画委員会としています。また、その通称を「トライアングル」としています。



< 八郷小学校 >

地域や保護者の皆さんの支援を受けて教育活動を充実する仕組みづくり

平成17年度に「八郷小校区地域学校連絡協議会」を設立し、既存の地域団体の支援を受け、教育活動の充実を図ってきました。この組織を「学校運営協議会」に移行しました。

「学校運営協議会」内には、組織の核となる「学校運営委員会」と学校の応援団、学校支援の実働部隊となる「拡大委員会」を設置しました。

